科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者	
成人看護学方法論Ⅱ	2年次 前期	必修	講義	1単位（30時間）	木竜 理恵子 ※	
授 業 概 要						
成人期にあり、慢性的な経過をたどる健康障害を持つ患者及び家族の特徴を理解し、対象のセルフマネジメント支援を中心に対象に必要な看護について学ぶ。						
到 達 目 標						
1. 慢性疾患を持つ対象のセルフマネジメントを推進する援助の必要性と援助方法を述べる。 2. 肝硬変および膵炎患者の慢性期の看護の特徴を述べる。 3. 免疫機能障害を持つ対象の看護の特徴を述べる。 4. 内分泌機能障害を持つ対象の看護の特徴を述べる。 5. 糖代謝機能障害のある対象のセルフマネジメントを推進するための看護を述べる。 6. 2型糖尿病患者のセルフマネジメント力をアセスメントし、食事指導を計画・実施する。						
実務経験のある教員						
木竜 理恵子・佐藤 美恵子： 慢性疾患を持つ対象の看護について、看護・保健の現場での経験を踏まえて教授する。						
回	学 習 内 容				担当教員	
1-2	1. 慢性疾患とセルフマネジメント 1) セルフマネジメントとは 2) セルフマネジメントを推進する援助方法				佐藤 美恵子 ※	
3-4	2. 肝炎・肝硬変症患者の看護				木竜 理恵子 ※	
5	3. 膵炎患者の看護					
6	4. 免疫機能障害を持つ対象の看護					
7	1) 全身性エリテマトーデス（SLE）患者の看護 2) 関節リウマチ患者の看護					
8	5. 内分泌・代謝機能障害を持つ対象の看護					
9	1) 甲状腺疾患患者の看護 2) 副腎皮質機能亢進症（クッシング症候群）患者の看護					
10-13	3) 糖代謝機能障害（1型・2型糖尿病）患者の看護 食事療法・運動療法・薬物療法を受ける対象のセルフマネジメント支援					
14・15	4) 演習 血糖測定 6. 演習 事例展開					
	1) アセスメント 2) 食事指導の計画・実施、省察					木竜 理恵子 ※ 他保健看護科教員
学 習 方 法						
講義・演習・グループワーク・ロールプレイングで進める。限られた時間で多くの内容について学ぶので、学習内容に関連する既習の知識については自己学習が必要である。						
評 価 方 法						
〔評価方法〕 科目修了試験とレポートにより評価する。評価の詳細は講義の初回に提示する。						
先 修 科 目						
なし						
教科書、参考書						
〔教科書〕						
医療保健スタッフのための健康行動理論の基礎		生活習慣病を中心に		松本千秋 著	医歯薬出版	
ナーシング・グラフィカ 成人看護学④ セルフマネジメント				安酸史子 他	メディカ出版	
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[5] 消化器				松田明子 他	医学書院	
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [11] アレルギー・膠原病・感染症				岩田健太郎 他	医学書院	
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[6] 内分泌・代謝				吉岡成人 他	医学書院	
新体系看護学全書 経過別成人看護学③ 慢性期看護				黒江ゆり子 編	メヂカルフレンド社	
糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版				日本糖尿病学会編	文光堂	
看護過程に沿った対象看護 病態生理と看護のポイント				高木永子 監修	学研	